事業所名	多機能型事業所　はぁぐみ～ききょうの(スマイル)	**支援プログラム**	作成日	2025 年	4 月	1 日

法人（事業所）理念		安全に十分配慮し、お子さまが笑顔でのびのびと学んで過ごせる空間の提供をします。 社会参加をするうえで必要となる知識・ルール・マナーを習得するためのお手伝いをします。 おひとりおひとりの「らしさ」を大切にし、それぞれにあった療育を目指します。
支援方針		・お子さまの発達の段階に沿った個別の関わりを大切にしています。 ・お子さまが伸び伸びと持っている力を発揮し、自分で考え発信していく力につながる取り組みを行います。 ・「楽しんで取り組む」ことで自然と「できた！」が増えていくような関わりを目指しています。 ・ご家族の気持ちや思いに寄り添いながらサービスの幅を広げていきます。
営業時間		9 時 00 分から 17 時 30 分まで　送迎実施の有無　(あり)　なし
		支　援　内　容
本人支援	健康・生活	来所後すぐに健康状態を把握し、健康の増進（病気への予防や安全への配慮）を行います。 基本的な生活スキル（挨拶・姿勢の保持・体温調整・余暇活動・整理整頓等）の習得を目指して個別の支援、環境設定を行います。 外遊びや集団遊びを通して、適度に体を動かすことで健康の増進につなげていきます。 一人ひとりにあった身体的、精神的、社会的訓練を行います。
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得し、筋力の維持を強化していきます。 感覚の特性に対して個別に配慮を行いながら、遊びや活動を通して様々な体の感覚の成長を促して行きます。 保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、楽しみながら取り組むことで、集中して取り組む力につなげていきます。 縄跳びを使ったタイミングの感覚やバランスの感覚、ボールを使った体の動かし方や強弱の力感覚、方向感覚の習得できるようにします。
	認知・行動	活動全体を通して時間や数、大小の選択、色の認知などの概念形成につながるような提案を多く取り入れています。 感情のコントロールにつなぐよう、気持ちを客観的にとらえる練習や気持ちの切り替えの方法を提案したり一緒に考えていきます。 場面に沿った適切な行動の選択につながるよう、選択肢の指示自分で考え行動できる力につなげていきます。 誤学習につながらないよう、場面に沿った個別の対応を大切に取り組んでいます。
	言語 コミュニケーション	困り感のある時には、要求や応答など場面に沿った言葉で他者に気持ちを伝えることができるよう個別に取り組みを行います。 暴言や暴力など社会的に不適切だと思われる行動に対して、発信を丁寧にすくい取りながら場面に沿った行動や、言葉の選択につながる考え方の軌道修正を行い、適切な行動の獲得を目指して行きます。 楽しく安心した気持ちで他者との関わりが保たれるよう、やり取りの方法を個別に提案していきます。
	人間関係 社会性	小学生から高校生にかけ、年齢と共に課題や悩み、目標が大きく変化していきます。 発達の段階に沿った悩みや課題に寄り添いながら、気持ちの整理につながる関わりを大切に取り組んでいます。 自分の感情に気づくことができるよう、感情にぴったりとあてはる言葉がある事を覚えていくことで、同じように他者にも様々な感情があることへの気づきにつなげていきます。 一人遊びから、ルールのある遊びの経験を通して、ルールやお約束を覚えそれに沿って行動することで、心地よく過ごすことができる経験を重ねていきます。

家族支援	家族からの相談に対して、特にきょうだい児への支援の必要性等、話をじっくり聞くことを大切にしています。適切な助言や提案ができるよう、職員の資質の向上に取り組んでいます。毎日の連絡票を活用し、お子さまの発達に対する不安や課題の聞き取りを行います。	移行支援	学校や学童保育などへの訪問を行い、課題や取り組みに対する情報の共有、受け入れの体制に対する方法の提案を行います。 家族の方に対して、移行先に対する情報の提供や移行先での合理的配慮等の環境の調整の提案を行います。
地域支援・地域連携	保育所等訪問支援を行っています。 適切な支援につながるよう、必要に応じて医療機関、児童相談所、教育機関等の専門機関との連携を行っています。	職員の質の向上	定期的に職場内研修、職場外研修に参加しています。 発達の段階に沿った適切な対応や関わりにつながるよう、毎日振り返りの時間を設定し意見交換を行っています。
主な行事等	季節に応じた活動の内容を設定しています。 毎月、きりんタイム（小集団の関わり）・避難訓練・誕生会を設け交流を楽しんでいます。		